



憲法を守り生かす政治を

岸田政権の憲法改悪を許さない



署名を呼びかけるにひ氏(右)と、プラカードを掲げる大平氏

岸田首相は憲法改定を「任期中に実現したい」と公言し、前のめりとなつていきます。衆議院で改憲勢力の自民、公明、維新が3分の2の議席を得ており、国民民主も改憲に前向きです。



議員らと街頭宣伝し、署名を呼びかけました。福山市では「9条改憲ストップ福山実行委員会」の9の日定例の街頭宣伝に、みよし剛史市議ら7人が参加しました。

自民党がめざす憲法9条の改悪や緊急事態条項の創設は、日本を「戦争する国」に変えるものです。敵基地攻撃能力の保有や大軍拡と一体に全面戦争を招きかねない危険な道を、何としても止めなければなりません。

全国署名に 取り組み

日本共産党は1月7日から10日まで「憲法改悪を許さない全国署名」の全国一斉宣伝に取り組みました。

にひそうへい

前参院議員・比例予定候補は7日、広島市中村たかえ参院選挙区予定候補や大平よしのぶ元衆院

憲法を生かす政治とは

憲法には「戦争しない」と誓う9条、すべての人が個人として尊重され法の下に平等と定める13・14条、健康で文化的に生活する権利と国の責務を定める25条、教育の権利や働く人を守る権利など、すばらしい規定があります。憲法を生かして、東アジアの平和と協力関係をつくること、コロナ禍で命とくらしを守り、一人ひとりが大切にされる希望ある社会を実現することこそ必要です。



※にひ氏の写真は「赤旗」記者提供 jcp.or.jp/akahata/

元日—中村たかえ氏、福山へ

1日、日本共産党の辻つねお県議と福山市議団は草戸稻荷神社前で元旦宣伝を行いました。

中村たかえ参院選挙区予定候補も駆けつけ、「憲法を生かした希望ある政治を実現するために参院選で意思を示そう。憲法9条を守り、核兵器廃絶へ声と行動を広げよう」と呼びかけました。



右から中村、辻、高木、河村、みよしの5氏

党市議団—新年度予算要望

日本共産党市議団は12月27日、福山市の2022年度予算編成に対する要望書を提出しました。

福祉や教育、防災、環境、地域経済、市政や財政のあり方など、8つの大きな柱で53テーマ、全616項目です。応じた企画財政局長は「各部署に申し伝える。要望されたポイントをよく配慮しながら、新年度予算を考えていきたい」と答えました。

